京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　一枚金二錢　一ヶ月前金三十錢　三ヶ月前金九十錢　六ヶ月前金一圓八十錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料　五號活字十七字詰一行一回金五十錢　特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話六六三番
仁川支局　仁川宮町三丁目
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

面及洞に關する舊慣制度（五）

（朝鮮總督府調査）

●面洞制度に關する甲午の革新

専ら古例舊慣に則り加ふるに權門勢家の専制の下に經過し來れる面洞行政の腐敗紊亂は蓋し想像に難からず甲午の革新は茲に鑑みる所あり地方行政の改善を期し面及洞に關する制度として鄕會條規並同辦務規程なるものを發布せり該制度は面及洞を以て地域團體として其自治を認め里會面會を設けて公共事務を統轄せしめ且つ此等機關の組織權限を明にする意義然として見るべきものあり今該制度の内容を摘示せば左の如し

（一）機關の種類及組織

執行機關　面　執綱　補助
議事機關　面　面會　會員
同　上　洞　尊位　補助
　　　　　　里會　會員

（二）職員の任免及其職務權限

（イ）洞　尊位は名譽職とし該里人民之を公選し其任期は一ヶ年とす執綱に屬し該里大小事務を掌る、尊位を補助する書記は名譽職とし尊位の推薦に依り里會之を撰定し一ヶ年を任期とす尊位の命を受け記簿報告文件を掌る又同じく補助たる頭民と稱する者は該里内年老解事の人を公撰し尊位事故あるときは其事務を代理し又該里内の事務上考證し難きものあるときは尊位遞は執綱之を頭民に諮詢す、頭民の下に隷屬する下有司は尊位遞代に當り里會之を議定し該里事務使役に任じ有給とす

（ロ）面　執綱は名譽職とし該面内各里尊位及公事人之を公撰す其任期は一箇年とす郡守の命を受け該面大小事務を掌り所屬尊位を監督す執綱の下に書記下有司面主人あり書記は執綱の命を受け記簿報告文件を掌る其任期を一箇年とし執綱遞代の時面會之を撰任し、下有司は該面事務使役に任じ其任期は一箇年にして執綱遞代の時面會之を選任し、面主人は面會に於て撰定し本邦所屬各里に公文發送の使役に任じ有給とす

（三）鄕會にて會議すべき事項

一、教育に關する事項
二、戸籍に關する事項
三、衞生に關する事項
四、社會人に關する事項
五、橋梁道路に關する事項
六、殖産興業に關する事項
七、公共山林及堤堰伏港灘に關する事項
八、諸税目及納税に關する事項
九、救恤に關する事項
十、公共賦役に關する事項
十一、諸般契會に關する事項
十二、新式令飭に關する事項

雜報

●群山通信（九月三日）

●例年なれば此頃は秋日和とて日中の暑さは暑中にも劣らざる節なれど本年は不思議にも毎日陰晴定まりなく時に或は霖雨一晝夜に及びしこともあり目下米作の收穫上肝要の季節に屬することとて其被害の有無に就ては一時大に世人をして前途の作柄を憂慮せしめしも幸に雨量少かりしを以て差したる被害もなかりし模樣なるも兎に角多少の減收は免れまいとの評判である

●併し縱し多少の減收は免れないとしても大體より見れば豐作たるを失はない市場は豐年の聲に何となく活氣を帶べるも今や内地も朝鮮も等しく豐年の見込略つきたれば今後米價の低落免れないとして何人も進んで大口の取引を試みんとするもの無く僅に小口新米の御祝儀的商内にた茶を濁し形勢を觀望せる有樣なれば愈來月よりの出穀期に入りても面白き活躍もなかる可き狀勢である

●況して過般内地に於て米價調節の爲め執行せられ勅令第二百十三號も愈一昨九月三十日限り效力なきこととなつたから十月一日よりは内地に於ける輸入米の稅率は舊に復し今後内地へ移出する朝鮮米は從來に比し石に付八十二錢八厘の即五割六分餘の增稅を賦課せられ加之双方より米作豐稔であるから弱氣の材料一時に輻輳し事實相場は氣迷の姿であれば當港の當業者が五里霧中に彷徨して實際歸着する處に迷へるも曾て斯かる時機に遭遇せし經驗なきことゝて當業者の立場より見て强ち無理ではあるまい（未完）

外事一束

△羅佛　協商有望なり獨提案に對し佛の最後回答は意見近似し調印近く成らん

△列國　伊土に對し極力戰局をトリポリに制限すべく運動中也多く成功せん

△近東　の形勢　希諸國政府は公式を以て爾來戰鬪に對し局外中立を宣言せり

△土耳其艦隊はダーダネルス海峽に無事到着し海峽扼守を命ぜられたりと

△トリポリは今尚伊軍の占領する處とならず又何等損害を蒙り居らずと

△陸軍中將カネヴア伊軍總司令官たりトリポリ上陸は天候險惡の爲延期す

△愛蘭　民黨首領パーネル銅像除幕式にレドモンド曰く英國民主政治眼前と

文苑

社頭　加藤梅雄

みめぐみの露もひまなし民草はまつれ内外の伊勢の大神

宮野鐵古

假初の宿にも花は咲いでゝあかき心を君に見せけむ

弓

たつか弓立てし心をそらさずとすゝなる道にれもひいらばや

雲

吹まゝ風のまに〳〵たゞよひて世に浮雲の上ぞはかなき

浪

白浪の立もさはぐは世の常ぞあとなき事にむくくだくな

源朝

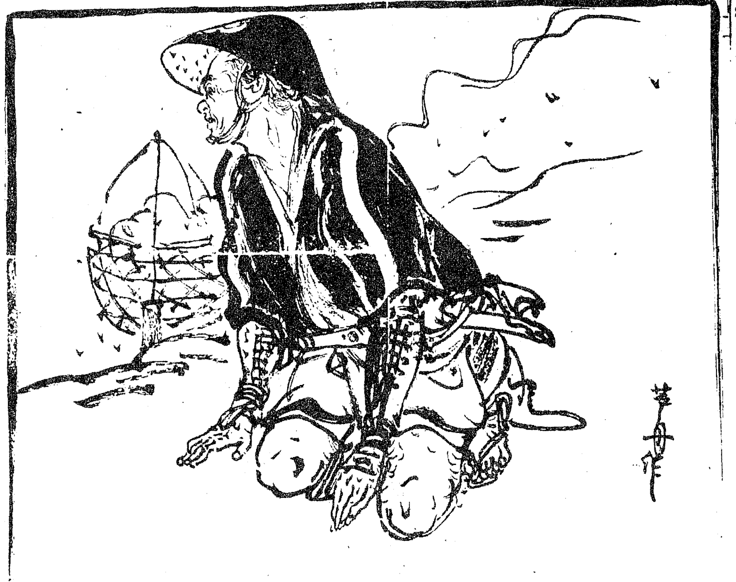
親にうひく兄はいかにぞ梓弓ひきかへしたるを矢のはげしさ

梁川庄八

小金井蘆洲演

第三回

勇猛無双の梁川庄兵衞自ら鎗を取つて奮戰する有樣は、宛ながら阿修羅王の暴れたるに異ならず、然れ共寡は以て衆に對し難く、敵の勢ひ益々鋭く今は大將政宗公の御身さへ危く見ゑましたので、庄兵衞謂へらく、大將自身陣刀を奮て敵を斬り給ふ程の難戰、今一時主君を此場より救ひ出すは安き事だが、此場だけ救ひ參らせた所が四面皆敵如何共致方がない、之は寧ろ我大將の危きを餘所にして上杉の本陣に無二無三に斬込み、假令此二百人が皆討死をしても奮戰突戰して上杉の本陣を突崩すより外に工夫はない、然うしたらば味方を救ふ事が出來るであらうと覺悟を定めた、二百人の兵士に向ひ　庄「如何に汝等今日の戰ひ殘念ながら敵は目に餘るの大軍に取圍まれ、味方の救戰實に術の施すべき道もない、依て今宵二十三日の宵暗に乘じて敵の本陣にムラ〳〵掛に斬入て突崩し、而して味方を救はんと思ふ一同、潔く討死を致してくれ、一死君恩に報ずるは此時なり、假令屍を沙上に曝らすとも武名を後世に殘さん」と勇氣凛々として下知を致しました、平素の訓導に懷んで居る郎下、一歩も退こうと云ふ氣色は見ゑません、庄兵衞大に悦んで、イデヤ是より異平地に敵の本陣へ乘込まんと二百人の軍勢を異圓に備を立てた、時に正繁一統を見渡すと、還暦に近い老爺が旗を持て居る是を指して　庄「コレ其方は何と云ふぞ　馬「私は御地行内の樋の口の農夫馬平と申ます　庄「何才になる　馬「へイ六十一になります……這回の御戰に付まして御領内から賦役の圖に當て御供を致ましたは、私と甞平次の二人甞平次は不幸にも流に當て討死を致ましたが、私は創も受けずれ旗を持續けて居りました　庄「ア、然うか……馬平其方は早々此場を逃れ在所へ歸て老を養へ嘸かし息も孫も有だらう……シテ是迄見もし聞も仕た事を領内の者にも語り聞かせ遺族にも傳へて呉れよ、我は是より上杉の本陣に斬込んで敵の大將の首を討取るか、花々敷討死を致すのだから、流矢亂彈に當らぬ樣に能〳〵心して逃げて行けよ、其方如き下郎が我々も倶に命を棄るには及ばん、賦役に當て旗持として來た身分だから遠慮なく早々逃れろよ」と最も懇ろに云含め懷中より革の袋を出し其内より一摑みの金を取出し　庄「サア馬平長々旗持御苦勞であつた、此金子を遣すから一刻も早く落延ろ」と差出すを、馬平は冠を振り　馬「有難い仰せ御尤で御座りますが、賦役に當て御供を致します時、名主樣初め村方一統の者が俺と喜平次の門出を祝つて呉まして、御進發のお供をするからにやあ生きて歸る心持はなく、息にも孫にも水盃をして出ましたに、喜平次は運拙く死んで終ひ、俺だけ逸者で御領主様が今夜討死と御覺悟をなすつたのを知て、何でオメ〳〵俺丈け歸れませう、御役には立ますめへが御前途を見屆たう御座います、御供を願ます」庄兵衞思はず馬平が手首を取て　庄「能、云て呉た……其方如き下郎でも其覺悟忝ない……如何にも宥かに潔く戰死をして名を後世に止めてくれ……各々方如何に此旗持の爺ですら是程の覺悟を持て居る、況んや面々の爲には三代相恩の主君の大事、死と成て全からんより玉と成て碎けて武名を擧げられよ……コレ馬平敵に旗を取られぬやう竿を捨てゝ旗を体に捲付て乃公の後方を放れるなと云終ると兜の忍の緒を切て討死の覺悟を示し、鎗取直して大地を敲いて　庄「一同掛れッ」の下知を下せば　部下の士卒は馬平の一言に勵まされて、ワハーと大波の岩に當て返すが如くの勢ひにて脇目も振らず異平地に敵の陣所目蒐て突懸りました、敵は謙信以來の陣立、一手八百人ツ、先手五陣、第一陣は神保出羽守第二陣直江大和守第三陣嶺ト野介第四陣北條安藝守第五陣中條越前守、五八四千人を物の美事に打破りました、日は既に暮れましたが梁川庄兵衞此邊は地理至て明らかですから、小高き丘に引上て一ト息つき、手勢を見ると五ヶ所の戰に七十八人斗討死なし、殘るは百三十人斗面々負傷は仕て居る容子だが命限り戰て討死せんと勇氣は更に挫けない、馬平はと見ると錆たる[illegible]で突もし斬もした者と見へ血汐を浴びて、薄傷は受けて居るやうだが勇み立て控へて居る、抑々頑丈な老爺です。



外國特電

伊土戰爭問題

▲英國局外中立 英國も局外中立を宣言せり(倫敦發)

▲土伊大使調停案 土耳古駐在獨逸大使の伊土調停案はトリポリに於ける伊太利の優越權を認めトリポリは土耳古皇帝の宗主權に依然として服せしめ伊太利は每年土耳古に賠償金を支拂ふ事なりと(伯林發)

▲伊國要求條件 伊太利國政府は六ケ條件を土耳古に[illegible]トリポリを伊太利に讓與すべしと(巴里發)

▲運送船拿捕 伊太利艦隊はプレヴェザに向ひつゝある土耳古の運送船一隻を拿捕せり多數の土耳古兵之に乘組み居れりと(巴里發)

獨逸政府の言明

獨逸政府は再び巴爾幹政府に警告し伊國がトリポリに於ける行動は決して巴爾幹半島現狀維持を危ふするものに非ずと公然言明せり(伯林發)

伊大使戰局觀

巴里駐佛伊太利大使は伊土戰爭に關し土耳古政府にして斷然トリポリを割讓するに非ざれば目下和平の見込なしと語れり

軍艦引渡要求

伊國艦隊はプレヴェザ知事に向つて港內碇泊の土國軍艦の引渡を要求し若し應ぜざれば砲擊すべしと威嚇せり

東京電報

財政方針確立

來る九日西園寺總理大臣は首相官邸に晩餐會を開き各大臣及政友會の幹部を招待し山本藏相の財政意見を徵し新內閣の財政方針を確立する筈

雜報

●濟生會の事業

內務省にては過般來恩賜財團濟生會事業の施設資料となす爲め各地方に於ける個人救療機關の取調を爲し居たるが今回地方長官の報告調ひたるを以て統計書を編成し濟生會に交附したり同會にては右統計に依り救療事業方針を決定する由

●官有財産調査方針

總督府營繕課にては曩日來官有財産の調査に着手し京城府內の分は既に大約終了したるを以て目下は咸鏡南北道へ二班約三十名の職員を派遣し目下調査中なるが其項目は度支部所管驛屯土宮社土伏農商工部の山林、原野、未墾地、堤堰、內務部の河川、道路港灣砂防用地、上下水道及通信に關するものを除きたる一切の官有財産にして全道の調査は向ふ二ケ年間にて終了の豫定なり

●鐵道豫算

朝鮮鐵道局にては明年度に於ては一も新事業の計畫なく唯既定繼續事業の續行をなすに過ぎざれば豫算も支出の部は鐵道線延長に伴ふ經常費の增加を見るべく又收入金も增加を見積り居るも今日の增收額に就ても今日より猶四五十万圓を增す見込なりと

●濟生會朝鮮施設

濟生會の寄附金割當額は總額に對する在鮮官吏の寄附金額は僅に約七萬圓の少額に過ぎざる由なるが濟生會に於ては朝鮮にも內地同樣同會の趣旨に基き十五萬圓を投じて施療院設置の計畫ありと

●開通新線

明年度內に開通せらるべき朝鮮鐵道新線は京元線中議政府より鐵原迄約四十一哩余と湖南線は連山より江景を經て金堤に達する間約五十六哩及群山支線の全部なりと

●日銀利上と朝鮮財界

異常なる金融緩漫の後を受けて例年の如く昨今稍引締り日銀も二厘の利上げをなし金融界繁忙の氣勢を示したるが之が爲に直接朝鮮に與ふる影響は重大なるものに非ざるべしと雖も從來緩漫なる內地の金融を利用して朝鮮の土地買入其他に放資したるものは一時此際中絕すべく又內地と關係を有する銀行等も自然引締を來す事となり幾分の影響は免れざらんか云々(佐野百三十支店長談)

●商議と代用米問題

全國米穀取引所聯合會にて朝鮮米を受渡代用米となすことを否決せしに付朝鮮各商業會議所聯合會にては右取引所聯合會の決議を不當なりとし今後朝鮮米をして代用米格付表中に加へしむる樣極力運動をなす由なるが右に就き京城商業會議所にては六日朝鮮に於ける各會議所に對し米作及び米質の調査を依賴し其の回答を俟つて詳細の意見を立て來る十二月開會さるべき全國商業會議所聯合會に提出する筈なるが一方山口書記長は六日農商工部を訪ひ農商務省に向つて取引所聯合會決議の不當なる事を交渉されたき旨を陳述したりと

●九月末の郵便貯金

九月末現在の朝鮮郵便貯金預け人は十六万六千二百四十七人其金額三百八十九萬千三百五十五圓余にして之を前年同期に比すれば人員に於て四萬四百十八人金額に於て百二十一萬五千二百三十三圓の增加なりと

●定例長官會議

六日午前十時より總督府に定例長官會議を開き山縣政務總監徵悉缺席石塚、大屋、荒井、池田の各局部長官、明石警務總長、菊池長官取扱、安住長官代理列席政務の打合せを爲し正午散會したり

●間島移住民減少

咸鏡南北道の鮮人にして間島に移住するもの前年來非常に多く昨年の如きは二萬餘人に達したる由なるが本年は朝鮮內地に於ける穀作豐穰のため移住者頓に減少し昨今にては殆んど數ふるに足らずと云ふ

●內地人所有地

京城民團に於ける內地人所有地は九月末日現在宅地畑地其他を合して百十三萬六千八百四十坪金額五百八十九万三千八百六十二圓なるが前月に比し面積增加一萬千百八十三坪なりと

●黃金町電車線許可

京城南大門通りより分岐し黃金町を經て光熙門北側城壁に至る電鐵支線布設の件は四日付を以て鐵道局より許可されたるを以て日韓瓦斯電氣會社に於ては同道路の擴張工事竣工次第布設工事に着手すべしとなり

●民團稅制整理と當局

既報の如く京城民團稅制調査案は各囑託委員より全部民長の手許迄提出したるが民長は是等各委員の調査案及び日本內地及び朝鮮各民團所在地の課稅狀態とを參考として立案し民會に提出する豫定なるが完成迄には理論及び實地の調査を爲さゞるべからざるを以て相當時日を要すべしとのことなり

●朝鮮米作と施肥

朝鮮在來の稻作は殆んど無肥料にて偶々肥料を施すものあるも何等認むべき効果なし之れ全く氣候風土及び地質の如何に依り肥料の種類を異にするを知らざるがためなり一例を擧ぐれば苦土即ちマクチシヤを多量に含蓄する土地は土壤中の酸性を中和すべき石灰(加里)分少量なるを以て耕作には極めて不適當なり稻作に對しては苦土一と石灰(加里)一との含量にわらされば肥料を分解吸收する能はず又酸性を中和すべき石灰を加味せざるに於ては肥料の効果は毫も現はれざるべし今重なる各道に於て試驗せし結果の概要を掲ぐれば左の如し

▲京畿道 酸性土壤の水田一反步に就き石灰二十貫目其の他の肥料を混入して施肥したるは無石灰肥料五より玄米四斗一升を增收し又肥料五貫目を混入施肥したるに六石乃至六石四斗の增收ありたり

▲黃海道 水田一反步につき大豆粕百貫目燐酸四貫目を施したるに比し二斗二升五合の增收ありたり

▲全羅南道 クロバー、大豆粕棉粕の肥料を比較研究したるにクロバー施肥の地は一反步につき玄米一石七斗五升大豆粕施肥の地は一石四斗八升七合棉實粕施肥の地は一石三斗七升四合の收穫ありたり

▲咸鏡南道 此の地の施肥は糞尿は米實萎縮し大豆粕は生育晚く堆肥は分解晚くして何れも成績不良なるが但綠肥、クロバーは成績却々に良好なり

▲平安北道 堆肥及び大豆粕は生育後れ成績面白からず人糞の方成績良好なり

▲全羅南道 綠肥の成績良好也

▲慶尙南道 紫雲英の綠肥最も適應せり

右の試驗の結果に依れば苦土には石灰肥料を要し其の他は綠肥最も良好なるが如しと當事者の一人は語れり

●煙草株拂込成績

朝鮮煙草株式會社株式募集に應じ證金拂込みたるもの當地に於て二千餘株なりしが之に對する第一回拂込は五日の拂込期日に當地の取扱四銀行へ拂込みたる總數八百八十四株なり

●石炭需用高增加

冷氣日增に加はるにつれ石炭の需用俄かに增加し先月中京城(龍山を含む)に貯藏せし數量は五百噸臺にて今月に入りてより千五百噸臺となりたるが來月に至らば更に增加すべく而して右千五百噸の內九百噸は九州炭五百噸は平壤炭百噸は撫順炭なりといふ

●九月中の獸疫

九月中に於ける全道の獸疫數は九十七頭にして內牛九十三頭、馬三頭、驢一頭なるが凡て炭疽なりと

●牛疫豫防講習成績

城津、鏡城、茂山、會寧、鍾城、慶興の各地に蕃產主任の道技手を配置し主として北鮮特產の生牛に對し牛疫豫防の任に當らしめ居りしか過般富寧に於て總督府より原島技師出張し該豫防注射講習會を開きしに何れも成績非常に良好なりしと云ふ

●電信線故障延着

忠淸北道忠州方面を通ずる(鐵道沿線以外の一線)電信線は忠州附近慶園に故障を生じたるを以て京城釜山間の電報は延着すべく從つて內地朝鮮間の電報も同じく延着すべしといふ

●寺內伯に民團課稅標準額

京城民團にては歷代の統監、總督に對しては特に民團稅を免じ居たりしが斯くては不公平なりとて既報の如く稅制調査會にては今年より寺內伯にも課稅する事に決定したり而して其稅額は本俸八千圓手當壹万五千圓計二万三千圓の收入なるを以て民團稅等級表の十五等三百八十圓に相當し土佐紙合資會社と三越吳服店との中間に位し九等中村再造君(稅額七百圓)に比すれば六級下にて二百二十圓の差額なりと

●大阪商船と朝鮮郵船

釜山元山木浦等の小濊船會社を統一し朝鮮沿岸航海を目的とせる朝鮮郵船株式會社創立主唱者は目下鎭南浦、仁川方面に於て發起人たるべき船主及廻漕業者と交渉中の由にて遠からず發起人會を開くの運びに至るべく其創立事務所を當地大和町に設け事務員を常任せしめ居る旨其筋に五日屆出でたる由なるが一方大阪商船會社にては朝鮮の沿岸航路を將來郵船に獨占さるゝことなきを期し釜山商船組をして既に南鮮沿岸の競爭に從事せしめつゝあれば朝鮮郵船成立上多少の妨けとなるは勿論成立後と雖も大阪商船との競爭は免かれざるべく爲に新發起人たるを躊躇しをれる者多しといふ

●漢城師範修學旅行

漢城師範學校生徒約六十名は十一日頃當地出發內地に修學旅行する由なるが東京、大阪、京都、神戶、吳其他重要なる各地方を見學すべしと云ふ

●修學旅行生行程

別項漢城師範學校本科三年生學員六十四名は三谷教師外五名に引率され來る十日午前九時南大門驛發其行程左の如し

△十一日廣島着△十二日海軍兵學校及吳造船所△十三日高等師範學校△十四日大阪造幣局同築港△十五日奈良春日神社△十六日山田內宮外宮參拜△十七日東京着二十五日迄各名所學校工場等視察二十六日日光行△二十七日東京、引返△二十八日伊藤公墓恩賜館横濱△二十九日京都智恩院淸水寺△三十日御所西本願寺△三十一日下關砲臺十一月一日午後八時十分南大門驛著歸來

●民團決算審查委員會

京城民團四十三年度決算審查委員會は六日も引續き開會せり

●第三期民團納稅告知

京城居留民團第三期(自十月至十二月)納稅告知書は目下調製中なるが茲四五日中には配布さるべく納入期限は十月末日迄なりと

●東上中の倉富長官

東上中なる倉富司法部長官は直ちに歸任の筈なりしも在東京の令息病氣のため長官夫人も五日東上せし次第なれば當分容易に歸任出來難かるべしと

●小原地方局長の引籠 小原地方局長は微恙のため五日より休養引籠り

●荒木大朝特派の着京 岡野告天子と交任の大阪朝日特派員氷魂郞荒木貞雄氏は七日午後八時十分南大門驛着入京不知火旅館に投宿す

●大槻稅關長の入京 大阪稅關長大槻龍治氏は滿鮮視察のため六日午前入京天眞樓に投宿したるが三四日間滯京の筈なりと云ふ

●明石總長の出張 八日寺內總督入京に付明石總長は出迎の爲め七日午前九時南大門發釜山へ出張する由

●獨領事平北行 獨逸總領事は米國人クリューゲル氏と共に平北雲山金鑛視察の爲め五日同地へ向へり

●中山大佐の出張 總督付武官中山大佐は五日夜當地發馬山を視察し七日釜山に出で八日寺內總督を迎ひ一行と共に歸任の筈

●民長の總督出迎 寺內總督には八日午後四時半南大門驛着歸任の筈に就き古城當民團民長は同日水原迄出迎ふる由

●櫻井財務部長出發 櫻井京畿道財務部長は都市徵稅調査の爲め六日午前九時南大門發內地へ出張せり

●有賀內務部長の歸任 京畿道有賀內務部長は管內楊州、漣川の郡參事路間會及授產場終了式列席の爲出張中なりしが六日午後六時歸任す

●原島技師の歸任 咸鏡北道へ出張中なりし農商工部畜產課の原島技師は五日夜歸任したり

●記者團有志開城行 當地新聞通信記者團有志は七日開城に赴き同地の名所古蹟を遊覽し同夜一泊八日午後歸京の豫定なり

●九月中の仁川漁況

九月中に於ける仁川を中心とせる漁業狀態を聞くに同月は二百十日二百二十日の厄日あり其前後に於ても天候不穩の兆ありて旁々海上警戒を要する日の多かりしも幸に無事なりしを以て一ケ月の中半分は漁業に從事を得其期間內は鰮の盛漁期に際し之れが漁場は仁川港外に散在せる各島嶼にして皆延繩を漁具とし又建網漁は靈興島大舞衣島方面に於て鰈及び小鯛を漁獲し何れも成績好良にして一時盛なりし鰆掛漁は終了期に入り發漁の鮑採收は海水の冷却に從ひ事業を休止せり於靑島及龍湖島方面にありては目下鰮の煎子製造に從事しをれりて九月中の煎子製造高三千七百貫に達すべき見込にて其賣上高は一萬六千三百六十七圓を算し昨年の當月に比し二千圓餘の減額を見しは遠く當業者漁夫の移住家屋火災の厄ありしによるものにして概して好況を呈せりと

●鴨綠架橋工事

鴨綠江鐵橋中安東側最終の綱桁組立に着手することゝなりたるを以て船舶の交通に便ならしむる爲四日より每日午前午後の二回其の中央部を回轉する事となりたり

●島貫治氏の送別會 仁川にある航路標識管理所長島貫治氏は多年其職に勤め功勞少なからざるが朝鮮に於ける第一期航路標識事業も一先づ終りしを以て今回職を辭し近々郷里沖繩縣へ歸

●熊公閣下頌德碑

……東洋協會報所載……

朝鮮の內地を旅行した人々は官吏の善政を頌する頌德碑に每度遭逢するであらう、自分が曾て大關嶺を越した時、頗る振つた頌德碑を見たことがある曰く、憲兵上等兵○○熊五郞公閣下善政愛民之碑とある、郡守以上の頌德碑は餘り珍らしくもないが、上等兵たる熊さんが急に公閣下になつた善政は何うした譯かと同行の朝鮮人として彼に里人に尋ねさした所ろ、その次第が甚だ面黑い、この熊公閣下片田舍の事とて牛解の朝鮮語を武器にし、鷄や豚や時には甚だ怪しからん者まで徵發に及ぶので一同大に恐縮した、泣く兒と地頭には勝たれぬとかで役柄が役柄とて致方もない、小田原評議の末の名案は、この頌德碑となつて現はれた、即ち此碑實は惡德虐政の碑!なのである如何な熊さんも斯く皮肉られては尻こそばゆきこと一通ならず苦肉の計は見事に功を奏して熊公閣下の仕打は大に改まつたさうだ頌德碑も石や鐵になると上の部だが木碑の中は油斷が出來ぬさうな舊財務署長の頌德碑なんどは此筆法で稅を低くして貰ひたさに建てたのが多いさうだ、況んや近來頌德碑大安賣の傾きあるとや。

●藤田醫院長觀月會 總督府醫院志の發起にて來る十日午後七時より仁川倶樂部員其他有志のために送別會を催ふす由

●藤田醫院長觀月會 總督府醫院は夏期休暇なく醫員職員共夙に出勤し遲く歸宅し以て院務に盡しをれる其勞を慰する爲藤田醫院長は五日午後四時より百に近き醫員職員全部を招ぎ漢江舟遊に兼ね觀月會を催ふし森安博士の挨拶後各々快樂を盡にして十時頃退散せし由

●鹿兒島農林生入京 鹿兒島農林學校生徒二十餘名は入交、草野兩教授引率六日午後七時七分南大門驛着三ケ月旅館へ投宿す

●水原農林生入京 水原農林學校生徒若干名は植木教諭の引率にて徒步にて五日夜入京鋪尾へ投宿せしが六日は龍山を視察せり

●江原道平康の發展

江原道平康邑は京元鐵道線路に當り停車場所在地と決定し過般來鐵道官舍其他の建築に着手したる爲か近來同地方に移住する內地人頗る多く家賃の如き一間一二圓乃至五圓を唱ふるに至れり而して移住者の職業は料理屋雜貨商大工左官理髮師等にして尙ほ移住の目的を以て視察の爲同地に往來する者日々數十名に上り將來著しく發展の模樣なり

●平南順川の農況 平安南道順川地方は目下畑作物の收穫期なるが降雨多かりし爲め被害多く粟作の如きは約一割減收の見込なりと云ふ

仁川港出入船舶

△大東丸 七日大阪より入港
△津州丸 同 横濱へ向出港
▽大東丸 同 同大阪へ向出向

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
十月六日	二一〇、二二三、六二〇	六二三

▲治外法權▼

總督府の御用紙が寺內總督の大隈伯訪問を號外で知らせて來た、ナル程之は大事件だ、御用紙の號外沙汰は尤な話だ▲聞く總督は最近大磯の蒼浪閣に梅子未亡人を訪ねた未亡人への訪問、何等政治的意味を有せしとは思へぬ、併し早稻田邸への訪問に至つては多少の政治的意味を有せざりしとは思へぬ▲开は兎に角として世にキマリが惡いと云ふ事ありとせば寺內の御前が早稻田大伯の面前へ立つた時程キマリの惡い事は無かつたらうと思ふ、シカシそこは流石に大膽伯、マサカニ總督の油をトル樣な事は言はなかつたらうと思ふ▲何にしろ人は長生きをすべきもの、長生きをさへすれば、寺內の早稻田參詣なんぞと云ふ變態をさへ見ることが出來る▲寺內の早稻田參詣で思出したが、數年前、今の東拓理事井上孝哉が任を佐賀縣知事に受け赴さに發せんとする際、新任地が隈伯の郷里と云ふところから敬意を表すべく早稻田邸に行つた▲孝哉素官僚の出身、心中決して隈伯を敬し居たるに非ず、而かも伯の鋒鋩に接する僅か三十分、彼れは知らず知らず隈伯崇拜者の一人と化した▲伊土戰爭も伊軍に因つて、トリポリーの首都が陷落されたとすれば、モー永くは續くまいて、尤もトルコの募債で一ト儲けしようと云ふ資本家が現れゝば、茲暫くは續くかも知れぬ。



チャンピオン傳(一)

高田商會京城出張所主任 澁谷良英氏夫人

澁谷ふみ子

勞如斯く御紹介申す澁谷ふみ子さんは何の方面のチャンピオンとして[illegible]推讃申上げたかと云へば、極々露骨の[illegible]方からである、ふみ子さんは諸

興行物、音樂等を觀及聽くことに無上の趣味を有して居られる、從つて京城に來られて以來、苟も當地に於て[illegible]興行されたもので其[illegible]第一日にふみ子さんの入場の光榮を擔はずして去つたものは恐らく一つもあるまい、芝居、浪花節、落語、[illegible]見世物、奇術、活動寫眞、[illegible]何でも彼でも[illegible]旭町二丁目の[illegible]

[illegible]良英君は[illegible]此れが又人後に落ちない方だから[illegible]驚歎の[illegible]

相伴れ立つて一等席に良英君の[illegible]落語家元の都々逸坊扇歌即ち現つばめに其儘の顔とふみ子さんの其のクッキリと色の白い瓜實顔の**美しい顔とが列んで**[illegible]

[illegible]興行物の着京當日は南であらうが風であらうが必ず南**大門停車場のプラットホームに出迎へて**他所ながら[illegible]良實

君は高等商業學校出身で本年正に三十二、ふみ子夫人は明治二十六年生れの十九歳本年三月に東京府立第二高等女學校を卒業せられて間の無い六月上旬良英君に嫁がれたのであるが此の**結婚成立の動機**と云ふものが如何にも兩者の趣味に相應して居るから面白い、良英君が當地出張所主任として着任したのは五月十二日で夫れ迄は東京本店詰であつた或日の事性來の趣味を滿すべく**帝國劇場**に行くと隣席に一個の美人を發見した[illegible]

慘殺された婦人の情夫

▽小栗榮吉の女房が事

[illegible]竹間町高利貸小栗榮吉妻いと(三[illegible])を殺[illegible]黄海道海州に於て[illegible]福岡縣人有本淺[illegible]

馬丁車夫等の亂暴

▽主人の大官を笠に

[illegible]馬丁車夫の中には主人の大官を笠に着て[illegible]座に至るや酒肴を[illegible]を助長し[illegible]樹木を[illegible]主人の大官なる[illegible]入るを好き事に益々[illegible]慨はし

心得違ひの父子

旭町[illegible]左官職神吉勝太郎[illegible]虐待し毆打せしと[illegible]説諭放免

●横着極まる店員

原籍福井縣[illegible]藏長男當時住所不[illegible](三〇)は實家は相當の[illegible]にて散々放蕩の末[illegible]十三年十月渡鮮し[illegible]店員となり[illegible]品代金凡十三圓餘[illegible]栗町八十六番戸八

木利三郎妻女が買物に來りたる際財布を同店頭に失念したるを奇貨として在中の八圓餘を盗取又九月三十日には取引先なる京城南大門通り三丁目三十番戸雜貨店椎尾昶鑑方より毛布代金廿一圓餘を詐取せんとして果さず前記金圓にて桃山遊郭和歌浦樓にて遊興せしより發覺し此程龍山署の酒本巡査より窃盗及詐欺未遂犯として檢擧せらる

●人を祈らば穴二つ

仁川府内西禾洞一統九戸高環俊(三六)は五日抱ね[illegible]の鶏甫淩波(三三)を割木を以て背及手足を亂打し半死半生にし淩波が悲鳴を上げ叫び居たる折から巡回中の石川巡査が認めて取押ね直ちに久木田醫士を招ぎ應急手當をなし高環俊は本署に引致取調の上笞刑四十に處せらる

●罰金各金十圓也

旭町一丁目九十三番戸大分縣人吉久七九郎(三三)賭町八六巣子商佐賀縣人土井貞一(四三)住所不定奈良縣人今井忠四郎(三〇)旭町一丁目九十一番戸有賀しげ(四三)龍山岡崎町四丁目金子直次郎(四三)の五名は五日午後二時半頃七九郎方にて賭博の現場を南部署に檢擧され各罰金十圓に處せらる

●船夫の行衛不明

仁川花町一丁目藤澤嘉十郎方居留藤澤善作(三七)は一日午前五時六十噸積の和船に石炭を積み同人妻及鮮人韓番房(二四)と三名龍山港へ向け航行中金浦に於て碇を巻き上げんとする際風波甚敷其爲韓番房は水中に陥り行衛不明となる

●龍山の腸窒扶斯

舊龍山元町三丁目七十一番戸の二藤原壽太岡港町二十七番戸吉岡角藏の兩名五日何れも腸窒扶斯に罹り吉岡は錦町松村病院に入院藤原は重体の爲自宅療養中なり

●仁川小學校の盗難

仁川尋常小學校にては去四日午後十時より翌五日午前五時迄に於て校内の窓掛二十四枚何者にか窃取されたり

●拾得

仁川府内面五ノ九金相俊は一昨日午後一時頃南村面道路に於て金一圓及認印煙草入金具入の財布を拾得し屆出つ

●演藝だより

▲壽座 毎夜好人氣なる後藤良介一行は七日八日の兩日開演の替狂言は一行得意の作物菊地幽芳子作『已ヶ罪』全十場切狂言が笑劇『金鵄勳章』にして重なる役割は左の如し 岩造、塚口茂三(藤野)環夫人(藤田)村長房山(雪岡)櫻戸子爵(内田)巡禮(北子)和田れ作、高利貸澁谷(後藤)父徳之進(深津)藝妓小松(松下)

▲歌舞伎座 五日夜昌徳宮殿下の臺覽に供し、六日夜より特等を除き大人二十錢小人十錢の大値下げを斷行したるヱムバーの活動寫眞なり

▲浪花館 吉川今勝一行の浪花節にして番組左の如し 梁橋綱(勝丸)義士傳(孤舟)後藤三代記(虎圓)水戸仁政錄(光廣)軍事探偵自雷也(今勝)

▲御成座 片岡鶴之助の浪花節芝居にして藝題は『天下大賊僞大久保』なりと

●京城券番 藝妓の顔合

眼の寄る所へ玉が寄つてやがていろはの四十七義士の芝居でも他手を借りずに出來る程に發展した京城券番の姐さん達同じ京城券に名を列ねながら一座をしても名乗合はねば戒名が譯らない如では詰らないから一つ顔合でもしては何うだらうね、大賛成、妾大賛成と云ふので話が纏り六日午後より白水の大廣間へ美しい顔を列べて世話人の挨拶があつて後『姐さん妾斯う云つた女で何にも出來ないんですから何卒宜しく』『申し遲れて濟みません行屆かないんですからねドーゾ』てな如なジギを一廻濟まして甘露臺やない精養軒へ押しかけて手前もの〻餘興もすゞ〜出ようと云ふ寸法、れ委い噂は次の紙上に讓つて何うか其の席上で『他人の旦那に手を出さぬ事』だけは決定する樣にれ頼みしたいものだ、デ無いと怪しい手合が有からナア(△生)

西洋商話

香水一吹の愛嬌で大受

青年紳士淑女を相手の一化粧品店が何か變つた趣向で御客樣の歡心を迎へたるものと二人の美しい少女を雇入れて愛らしい揃ひの服を着けさせ出入口の左右に立たせて一人は扉の開閉に一人には手に香水吹きを持たせて歸りのれ客に芬と一吹き香水を掛參らせた事にしたが忽ち行届いた叮嚀な店との評判を博して顧客の出入が極めて頻繁に御用を承る事も頗る多くなつた。

●新町 高野山別院の三十分(一)

白面子

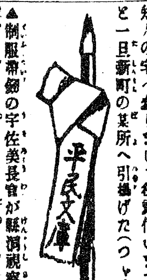
世の中に何が嘘を言ふたつてデモ、坊主、神主、牧師程酷い嘘を吐くものは無い、今は昔しカチ〳〵山の狸は婆汁を老爺に喫はして其の舌鼓を打ちて食ひ終るを待ち作釋して曰く『婆食つた老爺やい流しの下の骨を見ろ』と人は此狸を惡み泥船の沈沒に芽出度し〳〵を叫ぶを知つて他の恐怖、不安、敬神等の念を利用して口に神佛の語を成し其財物を酒食に代へ他が神佛の腐肉に舌鼓をうてるを見て『與し易しの歌』を唄ふデモ**坊主**の徒を惜むを知らず、迂か愚か、三十分子は**彼等の冠れる假面の素地を窺**うべく先づ新町高野山別院を襲ふたのが本月一日結果を纏たのが超えて五日の午後四時半、大分手數の掛つた次第を報告しよう、初日

十月一日午後一時

本町九丁目から折れて右側に石段がある弘法大師の標燈を見つゝ石段を登る五段宛五階ある、登り切つた所に石段の寄附人名を記す新町北野竹次郎と右に左側に岡久代みすとある、立つて眺むれば右に近く新町廓内を還く京城市中は指顧の間にある左は東西四軒町の官舍や賈六庵に連りて遠く東大門外の色づける野がパノラマを見る如に見ゆて近き山々の樹々の梢は既に紅葉の錦もて飾られんとして居る袂を拂ふ風に氣も心も澄む、所謂一氣天地に滿つるものか、發電所の煙突は蜿蜒として黒龍を中空に躍らして居る、人あり此景勝の地を占て宗祖大師の御名に因りて大日如來の靈前に頓首敬行して靈求來際を説く時んば馬牛も敬仰の念を生ずるであらう、况んや病を懷き憂を抱ける者に於てをや、豫算に計上したる十錢の賽錢は一圓となり十圓となるべしウツカリしたら白面子も無けなしの財布を振はねばなるまじ用心に勝くはなしと思ひつゝ『御免なさい』と訪ふと

三十二三四位の婦人が出て來る『和尚さんは御在宅ですか』と尋ねる

『和尚は一寸出て居りますが直ぐ歸ります、れ御籤で御座いますれば本堂でれ待ち下さいまし』と云はれる『デは此所を拜借しまして』と傍らに腰を下すと其所には食料雜貨商**丸山商店の注文取り**が**寢轉ん**で今の婦人と話して居る、婦人は梵妻さんだ相だ『御參詣人は多いでしよう』と雜談の仲間入をしようと口を切ると**『毎日五六十**人の參詣は御座います……エ新町の娼妓さん達ですか外出願が八釜敷いので參詣する人はありません』と云ひ切つて『れ御籤つて云へば先刻も山の官舍の方が來られましたが和尚が留守だと申上げたら夫れでは晝食を仕て來ると云つて出て行かれましたが貴郎は何う云ふ方の御心配ですか』と云ふ『妻の事です』と簡單に答ねる、スルト此の妻君は僕の圖所から稼業は何だヤレ何だと根堀り葉堀り尋ね出した、材料取りが材料にされては大變と一寸知人の宅へ參りまして後對伺います』と一旦新町の某所へ引揚げた(つゞく)



▲制服帶劍の宇佐美長官が縣洞視察の際土砂降りに逢つた爲め日本一藥舖の番傘を翳したと十月三日發行の京城日報が自慢らしく而してオベッカ的に報導してる▲然るに世に圖らんや此れ明に勅令に依つて制定された服制違反で御用紙としては打消さねばならぬ出來事を例々しく推奬的に報導するに至つては沙汰の限りだ▲若し今後驟雨降雪の日兵士や巡査や憲兵や而して服制規則に從はねばならぬ官吏が此の宇佐美長官の所爲に擬ふて大番傘を擔ぎ出したら何うか▲服制に傘を翳すなどの規定がないと云へば兵士にも憲兵にも巡査にも無い▲然らば炎天に洋傘を翳し雨天に蛇の目の粹な兵士が見られるであらう▲嗚呼宇佐美長官は勅令に依つて規定せられたる服制を無視して果して飛人環視の裡に大番傘を翳したか▲……日本一藥舖の捏造であらう、然らされば堂々大雨の際は制服佩劍の官吏兵士が傘を用ゐて可なる所以を說明せよ(愚人)▲僕は平民で官人の日常に暗いから序を以て說明を聞きたい(小僧)▲○○房の遠藤さんへ申上げますれ辱ねの『富の朝鮮』『新半島』は第一樓本店の月子が所持して居りますす貴郎は月子の部屋で何日でも御覽になつてる僻に(窺生)▲滿月の文の助は愈々本年十二月限りにて或實業家と落籍の契約成立したそうだれ芽出度い事ながら知らぬ○田さんや○井さんや○藤さんにはれ氣の毒(立聞生)

●天氣豫報

(自六日午後六時至七日午後六時)

南東の風曇少雨

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達

京城本町三丁目

大阪野村商店代理店

田中友吉商店 電話九三九 電略(ク)

問題は適切應用は自在

婦人世界

十月一日發行 六卷 第十一號 一冊 十九錢 郵稅五厘 半年分一圓五十錢 一年分二圓九十錢 郵稅共

口繪 ▲御歸朝の東伏見宮兩殿下 ▲陸相の家庭 ▲齋藤海相夫人 ▲新郎新婦 ▲秋晴 ▲秋の夕 ▲初雁

▲最近の梨本宮妃殿下(光濟寫眞)

▲秋の旅(極彩色石版繪) ▲瀨戶內海の幾月 …… 加藤博士夫人 後閑高師教授 志村夫人

⦿嬉しく思った贈物と迷惑した贈物

▲婦人の感情と性理 …… 村井弦齋

⦿文學士夫妻の開業した下宿屋 …… 今岡歌子

⦿新家庭の主婦としての私の決心 …… 村井吉兵衞若夫人

⦿一錢銅貨を飮んだ子供の蘇生 …… 芳川亮眼

▲女學生と金錢問題 …… 下田歌子

⦿大寺院を建てた佛門の女傑 …… 川村文芽

⦿米や炭の相場を知らぬ婦人 …… 嘉悅孝子

⦿出產前後に必ず心得べき事 …… 加藤醫學博士

▲女中の裁縫 …… 佐治實然

⦿病人料理れも湯とかもの拵へ方 …… 弦齋夫人

良人評判記

△海軍大臣齋藤實 △男爵後藤新平 △大藏次官橋本圭三郎 △醫學博士岡村龍彥 △三井銀行常務取締役池田成彬 △法學士 諸井四郎 △三菱會社地所部長桐島像一 △電氣局電燈部長安藤保太郎 △いづれも適評との大評判

幼年の友

十月一日發行 一冊十錢 郵稅五厘 半年分前金五十八錢

眼のさむるやうな美しい繪畫が澤山

本誌は拾數年來兒童敎育に盡瘁しつゝある東洋幼稚園主岸邊福雄先生が多年の經驗と熱心なる研究に依て編輯せる敎育界最好評の幼年雜誌てす

子供が飛付くやうな面白い話が澤山あります

發行所 東京南紺屋町十二番地 實業之日本社 振替貯金口座三六二番 賣捌 全國各書店



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百〇四番 電話千六十八番 振替口座京城十六番

緊急廣告

今般諸原料騰貴に付來る十月十日より總て一割方値上げ仕候條此段廣告候也

京城菓子商組合
同龍山支部
同餅屋一同

各位

京城旭町一丁目
齋藤齒術所
電話一四一四番

廣告

今般北部典洞(鍾路北裏)に集產場開設野菜果物雜貨海產物等の賣店開始付候
⦿追て開店御望の御方は御申込被下度候

中央集產市場事務所

米豆 定期 現物 仲買

仁川米豆取引所仲買人 ヤ橋本彌三郎 電話一〇七番

京城黃金町 ヤ橋本出張所 電話一六八二番

日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所

文房具 和洋紙 測量器械

シノサキ本店

京城本町一丁目(郵便局前) 電話七百五番 電話長六四八番 振替口座朝鮮一五四番

總督府及諸官衙御用

荷物運搬 引越荷物受負

伊藤組

本町三 電話四〇番
南大門驛 電話七三二番
大和町 電話九四八番
同第二 電話一六〇八番

登錄商標 有効無害保證赤井謹製 六神丸 度脩

定價
一粒入 金十錢
二粒入 金十八錢
三粒入 金廿五錢
五粒入 金四十錢
十粒入 金七十五錢
十四粒入 金一圓
二十粒入 金一圓四十錢
五十粒入 金三圓
百粒入 金五圓
郵稅一包に付金三錢

特効主目

⦿肺病 ⦿胃病 ⦿風邪 ⦿腫物(即ち疔瘡 ⦿乳蛾 ⦿乳癌 ⦿鼠毒 ⦿腸癰等)

⦿痢病 ⦿下痢 ⦿心臟 ⦿霍亂 ⦿小兒驚風等に最も適當す

⦿肺病全快禮狀(大畧)

拜啓過日當村神田增直(十六才の男子)肺病にて永らく困難罷在り候に付御藥御送附相願ひ候處御送り被下御有仰の通り用ひ候處今日に至り全快致し從前の通り職業に身力を盡す御何の差支も無之場合に相成候間くも御禮申上候 早々不備

明治四十四年四月十八日
甲斐國中巨摩郡大井村古市場
不動寺內 松田深敏
龜田利三郎殿

⦿注意 六神丸と稱する藥品なれば皆悉く効能ありと思ふは大なる誤り也、近來諸方に幾多の自稱類似藥生じたるを以て本舖發賣の眞品を購求せんとする人々は、赤井商の登錄商標及龜田利三郎の文字に御注意の上有効無害の精品を撰ばれん事を熱望す

本家 京都九條室町西入(電話八二七番) 正龜田利三郎

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 振替口座京城十六番 電話一〇六八番 九〇四番

御待兼の新栗製

栗羊羹
栗饅頭

京城本町 和洋菓子舖 貞島寒水堂 電話一四一番

醸造元 仁川萬石町 高杉醬油釀造所 電話七六五番

最上醬油

名譽銀牌受領 キリンビール

齒科診療

京城本町二丁目三越吳服店前 野田齒科醫院

仁川仲町三丁目末永吳服店隣 野田齒科醫院分院

弊館には夜醫の設備有り

統監府 陸軍指定旅館
の好き事 鐵道院指定旅館
仁川 水產組合指定旅館
第一なり 各保險會社指定旅館

御客樣の安全此の上なし

仁川海岸 旭屋旅館 電話二五一

M.C.C.

土耳古卷紙 エムシーシー

專賣局定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣

京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

米國代表車 ピアス

直輸入新荷着 實用堅牢車

自轉車 銃砲火藥 直輸入商

京城明治町二丁目(電話三〇二番) 瀧川銃砲店自轉車部

一日にして効能は現る



價 三日分 廿錢 七日分 四十錢 十四日分 七十五錢

本舖 日本大阪 高橋盛大堂

代理店 京城本町五 木下大盛堂 同南大門三 新井藥房

到る所の藥店に販賣す

獵銃獵具火藥

京城本町六丁目 增戶銃砲店

西灣 タバン懷中時計會社朝鮮代理販賣店
△米國ウオルサム懷中時計朝鮮特約販賣店
△米國アンソニヤ掛置時計朝鮮特約販賣店

日本 掛置時計明治時計會社朝鮮代理店販賣店
△各種貴金屬類 卸小賣店

▲各種蓄音器卸小賣取次店

各官衙諸會社御用達 時計卸小賣商

京城南大門通三丁目(電話一〇二五番) 喜多金光堂本店

仁川本町三丁目(電話七〇五番) 時計商 喜多金光堂支店

十月中 瀛船出帆 廣告

安寧丸 天草丸 成歡丸 海利丸 成歡丸

十月七日前七時 屯串行
十月八日前三時 海州行
十月七日前二時 蓝島行
十月九日前 海州行
十月十一日前九時 大湖芝行

仁川本町四丁目 電話一七三番七五〇 合資會社 秋田商會船舶部

芙江公州間定期出帆

芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半船內
御客樣の御用の操藥用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり

京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

薄口醬油

特約販賣 仁川京城 高雄支店 一

本場精撰

茶

右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣さも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候

仁川本町四丁目(電話四五〇番) 田中芳春園 振替京城五〇二番

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 千六十八番 振替口座京城十六番

二十世紀の新劑



▲月經をつうじ子宮病を全治す

月經不順

最良新藥

月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす

藥價 一日八錢半週分廿五錢 一週五十錢 二週分壹圓、三週分壹圓四十錢

常に月經異動ある人持藥とせば壽血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也

本舖 大阪心齋橋一丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋箔屋町 丹平商會支店

▲賣捌は東京市內其他各店に取次す